

きらめき市民活動

綾瀬を元気に



ブタッコリ〜



綾瀬で楽しく

あやびい

発行：市民活動センターあやせ 制作：NPO 法人コミュニティサポートあやせ

埋もれた綾瀬の魅力を掘り起こそう — 高橋元さんに聞く、市民活動に役立つ話 —

2015年度は市民活動センターあやせが発足して10年の節目となりました。
今号では特別企画として、センター設立に関わり、
現在は綾瀬の魅力を伝える活動をしている高橋元さんに話を聞きました。

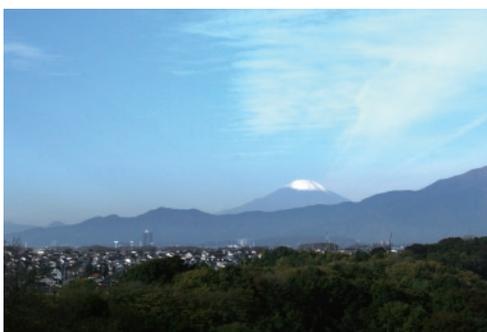
— 高橋さんが活動を始めたいきさつを教えてください。

「私は横浜出身で、綾瀬には転入してきたのですが、地域に属するコミュニティがありませんでした。そこで、中央公民館で行われていた生涯学習講座に参加しました。講座の最終日に各グループで研究した成果を発表したのですが、私たちは高座豚の歴史を調べました。綾瀬を知ろうとした最初の機会です。

2002年、このときのグループで高座豚研究班を立ち上げました。高座豚の歴史をまとめた紙芝居の紹介と豚まんづくり体験の実施を軸とし、市内の小学校の総合学習等で活動しました。今はこの活動から離れていますが、7年間続けました」

— 綾瀬について紹介する立場になっていった。

「活動を続ける中で、行政との関わりが深くなり、広報まちかど特派員（※1：3ページ目を参照。以下同様）になりました。その後、NPO 法人ふるさと環境市民が手掛けた、ふるさとの宝カルタ（※2）の紹介担当を務めるようになり、綾瀬をもっと知りたいという想いが強くなりました。それ以来、綾瀬をさまざまな角度から勉強するようになったんです」



道志会老人ホーム
から撮影した富士山

高橋 元
(たかはしげん)



百貨店勤務を定年後、綾瀬市生涯学習講座企画担当、市民活動センター運営委員などを歴任し、現在は綾瀬市の広報まちかど特派員、NPO 法人ふるさと環境市民が手掛けたふるさとの宝カルタ紹介担当、あやせ商業者パワーアッププロジェクトメンバー、綾瀬市職員研修講座講師などを務める。2014年に内閣府のエイジレス・ライフ実践者に選ばれる。

綾瀬の魅力を改めて発見

— 勉強した綾瀬はどんなまちでしたか。

「勉強してみると、埋もれている魅力をたくさん見つけることができました。

まずは、何と言っても富士山の絶景です。綾瀬市役所の南に広がる春日原は絶景ポイントの1つですが、この周辺は標高48mです。県道42号線は西側、東側の標高が低いこともあり、馬の背のようになっています。標高48mはビルだと16階に相当します。富士山が見られる恵まれた地形です。

そのせいか、綾瀬は空気おいしい、という意見もよく聞きます。綾瀬の農業を生産額からみると畜産が全体の60%で、これも大きな特徴です。空気おいしいということは、生き物を育てるのに適した環境とも言えるでしょう」



秋の早朝に撮影した城山公園

—— 人にとっても住みやすい環境でしょうね。

「そもそも、綾瀬には153の史跡があり、45か所は旧石器時代から縄文時代のものです。古い史跡がこれだけ多く残っているのは全国でも珍しい。4万年前の人が綾瀬の丘に住んでいたわけですから、大昔から住みやすい場所だったのだと思います。

吉岡の神崎遺跡が国の指定史跡に、城山公園の早川城跡が県の史跡にそれぞれなっていますが、その背景にあるのは周辺の自然の豊かさです。これは綾瀬の宝です」

—— 当たり前と思うことが、実は恵まれている。

「2014年4月から始まった綾瀬ロケーションサービス（※3）には、すでに430件を超える問い合わせがあり、50作品以上でロケ地となりました。この取り組みは全国的にも成功例となっています。映像制作業界の方に話を聞くと、普通の暮らしとそれに寄り添う豊かな自然、この組み合わせが大事で、両方を併せ持つ綾瀬は撮影する場として魅力的なまちだそうです。

昨年参加した全国ふるさと甲子園（2015年にロケ地となった55地域が参加）では、PRが実を結び、来場者による『行きたくなったまち』投票で全国5位に選ばれました」

市民活動センターは大人のたまり場

—— 高橋さんは市民活動センターあやせの設立にも関わっていますね。

「2005年から4年間、運営委員を務めました。私が考えていたのは、センターを大人のたまり場にしたいということでした。

センターには多くの情報が集まり、何かを始めたい人にとって、最初の一步を踏み出す入り口の役割を担っていると思います。私もセンターに関わったことで多くの地域の方とふれあいを持ち、活動の場を広げることができました。大人のたまり場として、もっと市民に浸透したらいいですね」



全国ふるさと甲子園で綾瀬をPRするブタロケ隊

—— 綾瀬の市民活動についてはどう思いますか。

「広報まちかど特派員として市内の各種イベントや季節の移り変わりを伝えて11年経ちますが、市民活動も綾瀬の宝の1つで、数多く取り上げました。

取材を通じて感じることは、福祉など、経験豊かな人に活躍を期待している分野がたくさんあることです。そういう分野に挑戦する気持ちで参加し、社会に奉仕している方々は本当に魅力的です。

現在はセンターに直接関わっていませんが、市民と市民活動をつなげる役割を担うことで、さらなる発展の手助けをしていこうと思います」

魅力を見つけて伝え、喜びに

—— 高橋さんはなぜ、そこまで綾瀬の魅力を伝えることに力を入れているのですか。

「綾瀬の魅力を伝える。これは私にとって生きがいになっています。魅力を知ってもらえることは最高の喜びです。私はカメラを肩に掛け、毎日1万5000歩、綾瀬を歩き回っています。埋もれた魅力を掘り起こしたい。好奇心を持ってまちを眺めながら歩くことは、とても楽しいひと時です」

—— 興味は尽きないわけですね（笑）。

「綾瀬市は神奈川県内で、横浜市、川崎市、相模原市に次ぐ4番目の工業集積地域です。400近い製造業の中小企業があり、世界に誇れる技術もあります。今はその歴史を探っているところです。

また、あやせっ子ふれあいプラザ事業の一環として2015年4月から市内の全小学校で始まった、あやせっ子ふれあい未来塾（※4）は、市民が子どもたちに知識や技術を伝える新しい事業で、積極的に関わっていききたいです。

2014年に私の活動が内閣府のエイジレス・ライフ実践事例（※5）に選ばれたこともあり、他市で講演をする機会が増えてきました。これからも綾瀬の魅力を多くの方に伝えていききたいと思います」

※1 広報まちかど特派員

市民によって構成され、広報あやせやネットニュースなどの記事取材し、市の魅力を発信している。情報提供や取材希望は 0467-70-5606（綾瀬市秘書広報課 広報担当）まで

※2 ふるさとの宝カルタ

綾瀬の好きなおとこ、いいところを市民に募集し、集まった289作品から50作品を読み札にしてまとめたカルタ。2011年に完成。綾瀬市在住の絵手紙作家・橘川芳恵さんが絵を担当。興味のある方は 090-8004-4166（NPO法人ふるさと環境市民事務局）まで

※3 綾瀬ロケーションサービス

綾瀬市と地域住民組織のあやせ市ブタッコリ～ロケ隊（通称ブタロケ隊）で組織され、ロケ候補地の紹介などを行っている。250人以上の市民がエキストラとして登録。問い合わせは 0467-70-5685（綾瀬市商工振興課 商業観光担当）まで

※4 あやせっ子ふれあい未来塾

市内の全小学校に設置されている「あやせっ子ふれあいプラザ事業」の一環として行われている。運営委員会が地域住民の協力を得ながら、子どもたちの才能・可能性を広く伸ばす

ことを目的に実施。プログラムは、工作・運動・昔遊び教室などさまざまで、各小学校によって異なる。詳細については 0467-70-5655（綾瀬市青少年課 青少年担当）まで

※5 エイジレス・ライフ実践事例

内閣府で毎年募集。選考委員によって紹介事例が決定される。年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送るエイジレス・ライフを実践する高齢者を広く紹介。詳しくは 0467-70-5616（綾瀬市高齢介護課 高齢政策担当）まで

I LOVE AYASEを WE LOVE AYASEに

I LOVE AYASEからはじめよう！ まちづくりセミナー開催



去る12月4日、当センターの地域リーダー養成講座の一環として「I LOVE AYASEからはじめよう！まちづくりセミナー」を中央公民館で行いました。プレゼンターには、斎藤隆訓、笹山真琴、佐竹和弘、武藤大輔の4氏に加え、3名の市職員を招きました。いずれもこれからの綾瀬のまちづくりを

担う若い方々です。

まちづくりについてそれぞれの立場から語られ、佐竹さんの「I LOVE AYASEを WE LOVE AYASEにし、綾瀬の暮らしをみんなでつくっていきましょう」という言葉で締めくくられました。当日は100名近い方に来場いただき、活気あるセミナーとなりました。



斎藤 隆訓 さん

ブタッコリ～推進委員会会長

「奥さんに、家庭と綾瀬とどっちが大事なの、と聞かれたくらい綾瀬が好きです。ブタッコリ～で綾瀬を有名にし、市民の郷土愛を目覚めさせたい」



笹山 真琴 さん

元タウンニュース綾瀬版担当

「地元の人こそ地元の魅力が一番わかっている。その魅力を自分たちで伝えていく。その姿がニュースになるし、おもしろい」



佐竹 和平 さん

綾瀬市まちづくり推進市民会議副委員長

「一目見て、子どもが楽しく過ごしているなと思ってもらえるまちにしたい。そんなまちをつくれる大人がもっと増えてほしい」



武藤 大輔 さん

綾瀬ジャグラーズミーティング代表

「私は綾瀬に育ててもらったメイドイン綾瀬のパフォーマー。最高のパフォーマンスで地域を活性化していきたい」

※以下は、来場した方のアンケート回答の一部を要約したものです。今後の市民活動の参考にいただければと思います。

「活動を広げること、継続することの重要性を改めて感じました。自分が暮らすまちを物質面だけでなく心の豊かさで満たすため、綾瀬を愛する人、それを行動に移す人を一人でも多く増やしていきたいです」（40代女性）

「若い人たちの熱い心を聞いてよかったです。50代、60代、70代になっても自分らしく生きている人がいるまちになってほしいです」（50代女性）

「自分も綾瀬が好きだということに改めて実感した。好きなまちのために何かしたいと思った。好きなまちがあるって、幸せですね」（40代男性）

「正直綾瀬についてまったく知りませんでした。綾瀬に来たのも初めてです。話を聞き、綾瀬のよさがとても伝わりました。もっと知りたいと思っし、知ればもっと好きになると思います」（20代女性）

市民活動センター あやせよりお知らせ



■「きらめき補助金制度説明会・相談会」開催

平成28年度のきらめき補助金（綾瀬市市民活動応援補助金）の交付事業募集がスタートします。募集期間は3月11日までです。募集に先立ち、制度説明会・相談会が実施されます。詳細は下記のとおり。制度活用を検討している団体の方はご参加ください。予約は不要。

日 時：2月5日（金）18:00～19:30
6日（土）9:30～11:00

場 所：市民活動センターあやせ

問い合わせ：0467-70-5640（綾瀬市市民協働課）

■「団体交流会開催」のお知らせ

年に一度行っている団体交流会を3月に開催します。日々の活動を通して感じることや体験などを互いに共有し、今後の取り組みにつなげる機会にしていただければと思います。詳細については各登録団体に改めてご案内します。参加をお待ちしています。

日 時：3月26日（土）18:00～
場 所：中央公民館3階 AB 講堂

■「春のチャレンジボランティア体験」開催&受け入れ団体募集

一般市民の方に市民活動を体験してもらう、春のチャレンジボランティア体験を3月20日頃から4月上旬にかけて実施します。関心のある方はこの機会にぜひ綾瀬の市民活動に触れていただければと思います。詳細については受け入れ体制が整い次第、当センター等でお知らせします。

※実施に向け、現在受け入れ団体を募集しています。詳細は以下の通り。

受け入れ条件：当センターの登録団体で、3月20日頃～4月上旬に実施する事業。1団体で複数の事業の受け入れも可

受け入れ募集期間：2月29日まで（3月15日発行の広報あやせでボランティア体験の受け入れ団体と事業を告知します。掲載を希望される場合は2月10日までにご連絡ください）

■「市民活動交流カフェ」開催

今回のテーマは「あなたは知ってる?! 厚木基地の歴史」です。綾瀬にできたいきさつなど、基地に関わるよもやま話を笠間功治・NPO 法人コミュニティサポートあやせ理事が紹介します。参加希望の方は当センターまでご連絡ください。

日 時：2月25日（木）18:30～20:00

場 所：中央公民館3階講習室

対 象：市民活動団体所属の方、市内在住または通勤、通学している方

参加費：300円（コーヒーなどの飲み物とお菓子つき）

定 員：30名

■パソコン&ポスタープリンター講習会

毎月最終土曜日、パソコンの基礎的な操作や当センターにあるポスタープリンターの利用方法の講習会を開催します（3月は第3土曜日）。

日 時：2月27日、3月19日
（いずれも13:00～15:00）
4月30日（14:00～16:00）

対 象：登録団体の所属、もしくは公益活動をしている方

参加費：100円

定 員：5名（要予約）

場 所：市民活動センターあやせ

※パソコン講習、ポスタープリンター講習を同日開催します。両講習合わせて5名の定員となっております。両方への参加はできません。

市民活動センターあやせ

〒252-1103 綾瀬市深谷 3838 中央公民館内

TEL&FAX：0467-70-1232

Eメール：ayasenposc@gmail.com

開館時間：9:00～22:00

休館日：火曜日、毎月第3水曜日、年末年始

登録団体数：133団体（2016年02月現在）

※ホームページもあります。

「市民活動センターあやせ」で検索してください。

